

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和 7年 11月 10日		～ 令和 7年 12月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和 7年 11月 20日		～ 令和 7年 12月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 12月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者さんが体験を通じて成長の機会を得られるよう、畑や近隣の自然に触れる活動を取り入れ、自然科学や身体の使い方、様々な発見や興味関心を広げられる支援を行っている	利用者の安全を最優先とし、本人の特性や体調、その日の様子に応じて活動量や関わり方を調整しエッチル。また安心して挑戦できる環境づくりと、成功体験を積み重ねられるよう人員配置に配慮している	今後も利用者の発達段階に応じた体験内容の工夫を行い、活動の質の向上を図っていく
2	山登り、サッカー、ダンス等利用者が興味を持ちやすい幅広い体験活動を提供している	活動内容については利用者の特性や当日の体調に配慮し、無理のない参加が出来るように工夫している	利用者同士のコミュニケーションを育む場を大切にし屋内外の活動を通じて利用者通しの関係づくりを支援している
3	利用者さん同士のコミュニケーションを育てる場がある(敷地内の空間やバスケット、サッカーのゴールなどを使って、利用者さんが自分たちでルールを考えて活動を作れる等)	スタッフが一緒に参加し、ルールの共有を助けたり失敗をフォローする流れを作る事で利用者さん同士のコミュニケーションを助け、活動中に失敗や戸惑いが見られた時はすぐに介入することで「やり直せる」「挑戦したことが大切」である事を伝え、否定されない経験となるようフォローしている	一つの活動を継続して共有しルールを洗練する等、話し合いによる問題解決や状況改善をする機会を作る

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者委員会や地域の保育・医療機関との連携が十分とは言えない	外部機関との連携は必要に応じて行っているが、継続的な関係構築には至っていない	必要性を検討しながら段階的に対応していく
2	学校との情報共有や連携体制が十分でない場合がある	学校によって情報共有の方法や頻度が異なり、予定確認の難しさがある	学校との持続可能な連携方法を検討し、他事業所の取り組みも参考にしながら情報共有の工夫を進めていく
3			